発刊 昭和25年10月5日 「除月曜」第三種郵便物認可 運輸省特別扱承認第684号
磐城日日
昭和28年（1953年）10月13日 火曜日 第953号

磐城日日
発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚通51
電話代表387番
編集兼発行人 長瀬壽一

募集
業務部員 若干名
◇希望者は履歴書持參の事
磐城日日新聞社

實踐哲學の權威柳田氏 次回講師で公民館開講

"物の觀方と考え方"

第一回社民ク社会科学講座終る

小名浜社民クラブ（会長曾田亮氏）主催の基礎社会科学講座第講は、同クラブが社会人啓蒙に実質的活動を始めた第一歩として注目され、日本水素労組青婦部の積極的な後援のもと、十一日午後一時から小名浜二小講堂で盛大な開講式と共に幕を開けたが、集つた郡下各労組員並に一般社会科学に関心を持つ受講者百余名は、立大教授宮川実氏の熱と誠意の講義に満足し現代資本主義經濟の実態をつぶさに勉強、更にマルクス資本論に端を発する講演に「資本主義の將来」を熱心に聴取して午後五時半第一回經濟學講座を終つた

社民クでは更に第二回講座を十一月八日公民館に開講することとなつたが、講師には現代実踐哲學のオーソリテイ柳田謙十郎氏が選ばれ、同氏は哲学講座として「物の觀方考え方について」平易な講義をやりたい、と言つているので一般受講希望者にも期待されている

柳田謙十郎氏は元埼玉大学教授、文理大講師現在日本文化人會議長として知られ、觀念論と唯物論、倫理学等の著書があり、今日西田哲學から前進して現代實踐哲學の確立を提唱注目されている

積載量など 自転車も取締りが強化さる

新しい交通取締法は十日から發効自転車は次のような取締りを受ける

①自轉車の發電ランプは指光軸を車体の五メートル以內に限定し、すれ違う際相手を幻惑させないい

②自轉車には必ず尾灯か反射鏡をつけ、駐車場以外の場所に駐車する際は必ず尾灯をつける

②自轉車の積載制限は幅はハンドル幅の〇、八メートル、重量は三〇キログラム以內、高さは乘つ人の肩の高さをこえないもの

④自轉車の二人のりは禁止されているが、六才未滿の幼児は安全な乘車設備があればよい

十三日からスト突入か

常炭労の攻撃

常炭連斗争委員會は九日開き、十月以降の新賃金交渉の統一交渉に應じなければ十三日以降（日時未定）二十四時間のストに入ることに決め各支部に指令した

支所長に八代氏

助役收入役は主事に 吏員は小名浜町吏員

小名浜町では鹿島村の事務引継に多忙を極めている

十一日は日曜を押して午前九時から小名浜町役場同鹿島支所の主任会議を小名浜町役場に開き詳細についての打合わせを行つた

なお旧鹿島村役場の吏員役職員の身分についても協議がすすめられているが、大体十二日午後、八代前村長と協議を重ねた上十三日頃正式發令となる模様であるが、八代前村長は小名浜町役場主事鹿島支所長とし鹿島の行政に当り、三島前助役も主事、新妻收入役も主事として鹿島支所の出納員となる他全吏員十七名中病氣その他の二名の希望退職を除いては全員、小名浜町役場吏員として從來通り鹿島支所に勤務することになる模様で同時に各区の区長もそのまま小名浜町區長として發令されることになる

品質本位、新柄の店
樋口呉服店
小名浜町 電三〇四

町発展に世論調査

湯本公民館産業部

去る十日から始められた湯本町公民館産業部の世論調査は九項目にわたつて町民の聲を求めて居るとの世論調査は將来の湯本町の産業がどの様に発展するか と云ふ事が主眼で住みよい明るい町を作ろうと努力しているのだがこの調査の項目は ①商店街の物價は高いか安いか②商品は少いか豊富か③商店員のサービスはよいか悪いか④お買物は湯本で充分か、又平へもゆくか⑤映画は湯本で満足か、平へもゆくか⑥その他の娯樂は湯本で満足か平へもゆくか⑦湯本町の將来の産業をどう思うか⑧各産業團体の活動はどうか⑨町内産業に対する金融機関の活動は

等で、空欄に特別のあなたの御意見、と云ふ欄をもうけ與論調査票をくばつて各町民の協力を希望している

川部村國有林を視察

全國山林復興大会は全國五千の林産関係が福島市に於て十二日から三日間の行事の幕を開く事になつているが澤渡三坂森林組合は林業功勞者として農林大臣賞、縣議赤津庄兵衛氏には林野廳長官賞が授與される旨發表され十二日夫々福島市会場で表彰の榮譽を擔う事になつた

なお十四日には約百余名が稲田町植林營林署管内の川部村日飛國有林を視察することになり福島市会場からバス三台に分乘して來稲する

当日稲田營林署では小林林業課長など關係者が案内にたつ予定である

また一行は十五日常磐炭礦を視察の上歸福する

盛大に慰靈祭

富ケ浦に五百の遺族

小名浜町遺族会（会長鈴木貴義氏）の戰歿者慰靈祭は秋晴れの好天氣に惠まれて十二日午前十時から富ガ浦公園内の靖國塔前に於て水野町長、長瀬議長、志賀消防団長など多數の來賓を迎え遺家族四百数十人が參列して神式・佛式により壮嚴に執り行われた

慰靈祭は先ず堀越定吉氏の開会で一同默禱を捧げ鈴木会長の挨拶 神式・佛式による供養 会長祭文、来賓の祝辭 電報披露に續き遺家族は夫々吾が夫、吾が子に玉串を捧げ燒香を行つて靈を慰めしばしの感慨にふけつた式を終了したのち会場を公民館に移して總会を開き午後三時からは慰安会を催してお互に慰め合い明日の生活を語り合つた

天氣豫報 13

（本日）北西の風、晴れ時々曇り

魚菜市況 12

（小名浜中央青果市場）卵一三〜一四、五生が六六〜七〇さつま三〇〜五〇大根一五〜四〇なす八〇〜一二五ほうれん草（一束）四〜一一ねぎ四〇〜一三〇里いも三〇〜五〇菜二〇〜四〇白菜一〇〇丸大根二〇〜四〇馬鈴薯五〇〜七六玉ねぎ七〇〜八〇きうり九〇〜一四〇玉菜五〇〜八六切いも一四〇〜一五〇牛蒡一〇〇〜一〇五

福島縣の文学

"古今和歌集"抄

丹野知子
高萩精玄

（解題）

古今和歌集。勅撰集一。二〇巻。延長五年（九〇五）醍醐天皇の勅命で紀友則、紀貫之、風河内躬恒、壬生忠みねが撰進歌数が約千首。四季、賀離別、き旅、物名、戀、雑、哀傷、雑体、大歌所御歌の一三部門のうち、四季及び戀の歌が最も多い。時代別にみると讀人不知の時代、六歌仙時代撰者時代（當代）に分かれ、歌風にも推移のあとがみられる。当代の歌は最も知的技巧的で古今調と言われる。主な歌人には、六歌仙、撰者の外、在原行平、素性、伊勢、藤原敏行、藤原興風、坂上是則、大江千里らがある。なお假名眞名の兩序があり、歌論史上特に注意される。勅撰集のこう矢として、永く模範とされた。（アテネ文庫（日本文学辭典」より）

（一）

題知らず（巻十四戀）
よみ人知らず

みちのくの
あさかの沼の花かつみ
かつみる人に
戀や渡らむ

「通釋」題知らず みちのくの安積の沼に生えている花かつみの名のかつみというように、一寸見ただけの人であるのに、戀しくて忘れることの出來ないままに、これから先きの永い年月を過すことでありましよう。

（語釋）〇あさかの沼…岩代國安積郡にある沼。〇花かつみ…水地に生える草の名。今の、野生のハナショウブだろうと云う。色々の説があつて決定は出來かねる。 〇かつみる人…一寸見る人の意。第三句までは同音のかつみるを出すための序詞とみても差支えない。〇戀や渡らむ…「や」は反語。「む」は推量の助動詞「む」の連体形。かかり結び。

（二）

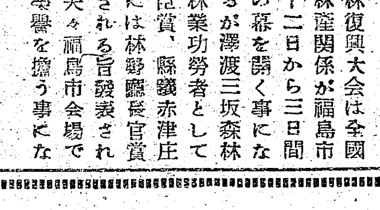
題知らず（巻十四戀）
河原左大臣

陸奥のしのぶもぢずり
たれゆゑに
乱れむと思ふ
われならなくに

「通釋」題知らず あなたは何にかと私のことを疑われますけれども一体私は誰のためにとんなに心を乱しましようか あなた以外の人のために心を乱すような私ではございませんのに。

（語釋）〇河原左大臣…源融。嵯峨天皇の第八皇子。六條の河原院に居住したので河原左大臣といつた。河原院には鹽釜の浦の景を模したという廣大な庭園があるので有名であつた。寛平七年歿。七十三才。 〇しのぶもぢずり…昔、信夫郡地方から産したもので、その模標が乱れていて、ねじているのでレイ摺といい それが「乱れ」の序となつたものである 〇たれ故に…との「たれ」を「あなた以外の人」に置きかえて見るとよくわかる 〇われならなくに…私でないのに。「な」は、ナ行四段に活用した否定の助動詞の未然形。「く」は用言の未法然形又それに準ずる形から續いてその用言に体言の資格を與える助詞である。（補）この歌は、元永本には第四句が「乱れそめにし」とあり、それが百人一首にとられている。

拾万台突破
新しい威力として大評判の
前進六段、後退二段装置式
（カタログ進呈）
=三輪車界の王座=
ダイハツ号
代理店
小名浜町
宮下商會
モーター部
電話（四五九番 一九八番）
ダイハツ中古車在庫豊富



外科 内科 性病科
草野醫院
草野道平
野間正
小名浜町中島（電話局隣）
電話小名浜九九番

インサは……ナがセ

建築設計施工
青寫眞ノ御用承ります
水素前西五十米先
小松栄二級建築士事務所
小名浜町松ノ中八八

外務社員 急募
御希望の方は履歴書御持参のこと
年令・学歴を不問、要保證人
投資は有利！
金融は低利融通！
小名浜町愛宕下 若葉館前
日本投資金融株式會社
電話三四五番

第三種郵便物認可　一部壹3円（月曜休刊）

磐城日日

昭和28年（1953年）10月13日（火曜日）　第953號

日星A組せんいB組優勝
運輸、郵政敢斗して潰ゆ
職場野球秋季大会終る

小名浜職場野球連盟秋季親善野球大会最終日（十一日）は午前九時から第一中学校球場で開かれ、B級決勝、A級準決勝、決勝の四試合が行われたが結局B級織維品組合、A級日星製作所の頭上に栄冠が輝き、織維には優勝杯、日星には優勝旗が夫々授与され、三日間に亘つた大會の幕を閉ぢた　各試合戦績次の通り

（B級決勝）
織維14A―13郵政
（A級準決勝）
日星4―1丸浜
運輸A3―2海保
（A級決勝）
日星5―3運輸A

（戦評）

▼A級準決勝の日星、丸浜の一戦は日星高久田、丸浜石井（大）を夫々マウンドに送つて対戦したが初回丸浜三塁の暴投で一点を許したのがたゝりその後三塁不調で暴投、エラーで二点を許し勝負決定してしまつた　丸浜攻めては高久田のシユートを打てず結局実力の差

▼続くA級準決勝は運輸省A對海上保安部は運輸赤津、保安部武山の投手戦を展開したが赤津やゝ勝り三回裏運輸赤津ランニングホーマーで一点を先取、その後武山を打ち勝つて準決勝をものにした

▼午後のB級決勝戦はまさにB級らしい試合で追いつ追われつのシーソーゲームを展開、十四對十三とラクビー的數字をタキ出して延々三時間に亘る大熱戦となつた　試合に不馴れの郵政は投手のない織維を攻めて良く走者を出したが結局老巧新光のヴエテランで大半を固めている織維の試合ズれさにごまかされ？てアルファー敗け

▼A級決勝日星對運輸Aはさすがに好試合を展開し、日星高久田、運輸赤津の何れも全小名浜の主戦投手を擁して対戦、投手戦になるかと思わされたが、赤津案外に不調で武器のイン・ドロがきまらず三回表高久田、角田と續く好打順に長打線を爆發させ一挙五点をものにし試合を決定し、その裏運輸ランニング・ホーマーで二点を返えしたが結局追いつけず振り切られた、勝因は投手力に於て日星が勝つていた事

（H觀戦）

青年學級の研究会
十日四湯本で

湯本町公民館で十四日午前九時から青年学級の運營について、文部省社会教育課済本邦彦氏の青年學級研究会が開かれる

作況調査の打合せ会
小名浜農委

小名浜町農業委員会は十二日午後四時から公民館日本間に委員會を開き五日から行つている水陸稲の作況調査について事務打合せを行つた

新組合を結成
自労二つの旗印
注目される容共色

郡下自由労組の中で唯一つ政黨政派に超然たる獨自の性格を堅持していた小名浜自由労組（組合長瀬大三氏）は去る十四日組合臨時大会以來部内抗争の萠が萠し、現組合の在り方を不滿とする一部組合員の動きが注目されていたが、是等の組合員は遂に新たに組合を結成するほか道なし、として十一日同志五十余名を料合公民館において結成大會を開いた

役員選擧の結果、組合長に大柳忠次郎氏、副組合長藤田正一氏、書記長小松徳助氏が就任茲に新組合が出来上つた

新組合の性格は多分に容共的と見られており、小名浜自労は事實上反共、容共の両派に分裂、同一職場に二つの組合の姿と共に小名浜自労今後の歩みが大きく注目されている

常磐十月の出炭目標

常磐炭坑の出炭率は下期に入つていちじるしく減少し、八、九月の出炭は予定出炭に合計三千七百トンの赤字であるが十月の出炭目標は十一万トンと云うことになつた、内譯は湯本四万七千トン、内郷四万六千トン、磐崎一万七千トンとなつている

ヒット版懸賞假装
斗爭忘れて湯本礦運動会

十一日常磐炭坑湯本坑の運動会は、午前五時四十分の花火打上げと共に開催を知らせ午前八時三十分開会された、一ヶ月にわたる訓練で各區の選手は張切つて對抗競技に望み、懸賞付き假装に一万四千円の經費をかけた、八仙区の花咲ぢいさんが一等　つゞいて寄葉區の花咲ぢいさん花笠に身をつゝみ踊る娘子軍が二等に入り歓呼と拍手のうちに午後一時三十分終了したが、この日だけは新賃金問題も何處へやら童心にかへつた父さんや母さんの顔も明るかつた

自轉車の取締强化さる

小名浜地區署では最近自轉車盗難が激增している事に鑑み、その予防、早急解決策を苦慮していたが此の程管下各町村役場に自転車（原動機　リヤ、カー附も含まれる）登録状況調べを毎月報告する様要望した　従来は自轉車の鑑札交附を受ける際、簡單に登録するだけで済んだが今回の處置によると、車体番號、社名特徴、購入年月日及び商店名、金額、など詳細に及びこの登録台帳によつて警察署では押收した自轉車の所有主を容易に判明し、犯罪解決を早やくすると共に盗難された自転車は簡單にその台帳と照合して捜査しようと云う意圖であるこれが徹底されゝば現在迄の様に検挙押收された自転車の所有主が判明せず長期間に亘つて数十台も署に保管されると云う事も解消される事になる

父兄会で就職懇談会
十九日一中で

小名浜町第一中学校では卒業期に備えて十九日、公民館日本間に就職希望者の父兄会を開き、平の職業安定所から係官の來濱を要請して就職について懇談する事になつた

汽笛

木偶の棒縣總務委員は退陣せよ
鹿島合併問題の批判

今回の鹿島合併に關し梅野氏及酔狂童子氏等が、鹿島、小名浜　湯本各町村議会が合併に至る迄の内幕的經過報告とも言ふべき記事を拜讀して、吾人も又義憤を覺える者である

吾人は前記両氏の取り上げて居ない處を取り上げて見たいと思ふ、即ち縣会總務委員会である最終決定機關である縣議会、即ち總務委員が採つた裁決は果して正しいものであつたかどうか、検討して見たいのである、鹿島村会は八對六で小名濱合併を議決し、小名浜町会は之れを承認全会一致で合併を議決し、直ちに縣に對して、合併承認の申請をしたのである、そして九月縣会に上程され、縣議会は之れを承認議決した、表面はそうであるが、裏面はどうであるかと言ふに御承知の通り、合併後鹿島の三部落（上矢田、松久須根、三澤）を湯本へ編入と言ふ條件付である

之れはなぜか？それは縣會直前に鹿島村一部村民の小名浜合併反対者の署名陳情があつたからである

縣總務委員会は之れを取り上げ、三方一両損的名裁判をやつた心算りでいるのであるが、実は自己保全にキウ〱とせる縣總務委員連中が、あちこちの鼻息を伺いながらやつた仕事であつて、政治の常道を踏み外した偽政者の行爲である

なぜ表面的な行き方をしなかつたか　それが常道ではないか

なぜ條件を附したか、陳情があへたからと言ふのであろう

然らば、その署名陳情なるものを、もつと掘り下げて研究出来なかつたか

吾人は鹿島の反対署名者が何名であつたか聞き洩したが、卑近な例を取るならば、小名浜四町議リコール問題であるが、あの署名を一度び調べたならば、何にが出たか？署名中には未成年者あり、重復あり、更らに署名に當り内容が良く解らずに署名した人あり　又署名運動員の甘言に迷わされ署名した人もあると聞く同様に鹿島の反對署名中に、署名取り消しを申し出た人々が多數あると聞く、其の他合併反對運動には、湯本側に踊らされコウモリ的な行動を取つた村議及首腦部が多数居た事も事實である

斯様な運動員に取つて純朴な農民を甘言に依つて署名させる事は易々たる事であると想像するのである

總務委員は一部反対陳情によつて、民意を尊重して分割したならば、分割した三部落内に反対署名せぬ少数の人々の民意も尊重して希望通りの事がしてやれるのか？

それらの人々の民意を無視して三部落としたのは何是か、左様な事迄責任は持てないと言ふかも知れぬが、前記條件を出したのは總務委員であれば末端の責任も負ふべきである

勿論小名濱の町議連中のダラシなさは申す迄もないが、骨抜きにして詰腹を切らせた總務委員は、それで面子が立つたのであろうが、八代村長の聲明の通り戦利品の様に切り賣されて、あまつさえ議会政治の常道を誤らせた縣總務委員を糾彈する總務委員は速やかに辭職せよ、小名浜町議會も直ちに解散して信を町民に問え

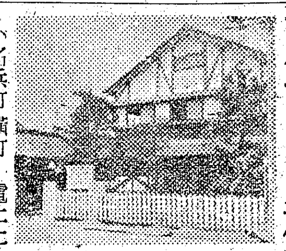
吾人は腰抜け議員共に町を任せて置けないと同時に本偶の棒にも等しい總務委員の退陣を要求する

（小名浜町運四郎生）

常磐名産　みりん干

平マーケット　サービス券
50圓（本券切り抜きいつでも御利用下さい）
現金300圓以上御買上に50圓として通用
皆様の店　平マーケット　電297

産婦人科
久保田醫院
小名浜町横町　電二二
助産婦　副院長　久保田イネ
院長　久保田眞一



第一位通産大臣賞受領記念
懸賞大売出し　期間 自28年9月15日 至29年1月末日
マグネツト号自轉車
特等二本…テレビ
一等五本…夜具
二等十本…座布團
高橋自轉車店
小名浜町上横町

美術パーマは
本田美容室
小名浜町

各種印刷の御注文は長瀬

平マーケット
チケツト歓迎
經費をかけずに良い品安く
スポーツシーズン
野球帽ユニホームグロブ
男女学童用運動着運動靴
旅行セツトボストン手提
レインコート雨靴、洋傘
男女子供服と婦セーター
毛糸カネボー・群羊各色揃
カネボー一封度2000円
ブラウス学生服セーラ服
秋物服地と夜具地　入荷
夜具の手入……フトン綿
化粧品柳屋メヌマ ジユジユバビリオ 80円
菓子切手葉書印紙たばこ
ちどりフトン綿、夜具地
お買物には先づ平マーケツトを思出して下さい私共は常に貴方の御相談相手として待機しています
皆様の店
平マーケツト
小名浜第二小学校前　電二九七

㊡小泉屋　No.4 ニユース
オーム社発行の
電氣工学書類
二百余種陳列
29年　専門日記発賣
鉄道時報局発行
土木　建築　電氣　化学
機械　鉄道　保線　其他
定價130
小名濱町本町　電話122番

住込女子店員を求む
勤務場所　東京都中央区日本橋
年令　十八才以上の獨身者
待遇　手取三千円―四千円
◎詳細は本社に御照介下さい

全女性絶讃の二本立
11日―13日マデ同時上映
深みゆく秋にふさわしき名作の訪づれ……
嵐ケ丘
ローレンス・オリヴィエ
マール・オベロン
白魚（しらうお）
原節子、上原謙、岡田麻子
小名浜キンビ館　電六七〇